

【別紙様式】

平成28年度 津山市立（院庄）小学校

改善プラン「平成28年度全国及び岡山県学力・学習状況調査」今後の取組について進捗状況（年度末）

津山市 達成目標	これまでの取組やたしかめテスト等から 【平成29年度全科目で岡山県平均点を超える】見込み	国語や算数で、自分の考えや理由を題意に沿って書き切ることができない児童が多くみられるため、新聞のコラムなどを一読して要約するなど、「読んで書く」経験を積ませる。	
学校の取組・改善方法（課題に対する改善方法）		進捗状況	来年度へ向けて（具体的な達成目標・数値目標）
市全体の取組	○問題データベースを活用し、「朝学習」や「ふり返り学習」の時間に苦手な部分の復習をしたり、家庭学習として取組んだりする。	B	○宿題や「高学年ふりかえり学習」の時間に、問題データベースのプリントを活用する。 ○家庭学習が定着しにくい児童には、放課後等で個別指導を行う。 ○授業でポイントとなるキーワードを使ったり、字数等の条件を設定したりして学習のふりかえりを書き、交流し合う場面も設定する。
①	○家庭学習の手引きを活用し、家庭学習100%提出の取組を継続する。	B	○宿題の提出率を上げるため、学校で数問の宿題をしてきっかけをつくらせたり、解き方を確認したりしてから帰宅できるようにする。 ○家庭学習時間点検カードを実態に合わせ提出。
②	○たてわり班活動をベースに、下級生を思いやり人的のために働いたりする経験を積み、行動を価値づけすることで、児童の自己有用感をさらに高めていく。	A	○朝学習での異学年での教え合い活動を実施することで、自己有用感を高めたり、児童相互のふれあいを促進したりする。 ○児童アンケートを毎学期末に実施し、「自分のいいところ」を全児童が5つ以上言えるようにする。
③	○読み聞かせボランティアと協力しながらさまざまな内容の本とふれあう機会をより多くもつとともに、落ち着いて読書に取り組む経験を積ませる。	A	○図書室で借りた本だけでなく、家で読んだ本や読み聞かせボランティアに読んでもらった本の題名を読書カードに記録させることで、目標をもって一人一人が年間100冊以上の読書量を達成できるようにし、さまざまな文章にふれさせたり語彙を増やしたりする。
<p>※進捗状況・「S：目標を大きく上回った（100%を超えている）」「A：目標を十分達成できた（85%以上100%未満）」「B：目標を概ね達成できた（70%以上85%未満）」 「C：目標をある程度達成できた（50%以上70%未満）」「D：目標をあまり達成できなかった（30%以上50%未満）」「E：目標を達成できなかった（30%未満）」</p>			

平成28年度 津山市立()小・中学校

改善プラン「平成28年度全国及び岡山県学力・学習状況調査」今後の取組について進捗状況(年度末)

津山市 達成目標	これまでの取組やたしかめテスト等から 【平成29年度全科目で岡山県平均点を超える】見込み	算数・数学・・・現状(特に主な課題点を記入すること) 国語AB・・・現状(〃) <div style="text-align: right; color: red; font-weight: bold;">この記入を忘れずに!</div>	
	学校の取組・改善方法(課題に対する改善方法)	進捗状況	3学期及び来年度へ向けて(具体的な達成目標・数値目標)
取組 例	①「問題データベース」を活用し、課題のあった類似問題を取り上げ、学年一斉の実施日を設定して取組む。 ②朝学習や家庭学習を活用して、既習事項の復習を行う。 ③直しを徹底することで基礎学力の定着をはかる。 ⑤「家庭学習カレンダー」を毎日記入させ、家庭学習の習慣づけを図る。	B	○活用問題は、全員が問題データベースを使用し類似問題を解く(100%) ○「家庭学習カレンダー」を実態に合わせ、毎日提出。(90%以上) ○家庭学習が定着しにくい児童には、放課後等で個別指導。(3学期) ○授業の中で、キーワードや条件を入れてまとめたり、自分の考えを書いたりする場面を多く設定する。
市全 体の 取組	「問題データベース」を活用し、A問題の課題のあった類似問題を取り上げ、朝学習又は、放課後、授業中に位置づけて全校一斉で取組む週間を設定する。 など		○問題データベースを活用し、A問題の課題のあった類似問題を取り上げ、朝学習に位置づけて全校一斉で取組む週間を第2・4と決めたことで、アクセス数が増えた。また、活用問題については更なる問題データベースの活用を促す。
①			

市全体の取組では問題データベースを活用した各校の具体的な取組を記入する。
 特にこの2ヶ月、年度末の1ヶ月と、年度初めの1ヶ月を意識した具体的な取組みを!

「A: 目標を概ね達成できた(70%以上85%未満)」
 「B: 目標を概ね達成できた(70%以上85%未満)」
 「C: 目標を概ね達成できなかった(50%未満)」
 「D: 目標を達成できなかった(30%未満)」
 「E: 目標を達成できなかった(30%未満)」